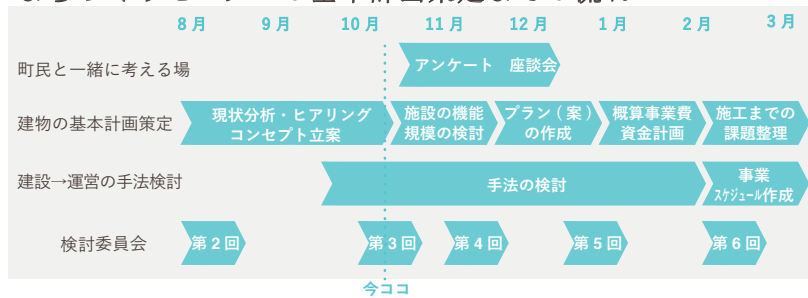


全世代・全員活躍 まちづくりセンター

まちづくりセンターの基本計画策定までの流れ

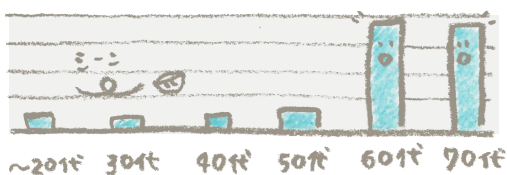


第3回委員会を行いました

10月9日に第3回全世代・全員活躍まちづくりセンター整備検討委員会が行われました。今回は、事前に行った委員ヒアリングや、中央公民館・近隣類似施設の利用状況の現状分析、まちづくりセンターに導入すべき機能の整理、住民参加の4点について、内容の共有と検討を行いました。

現状分析の結果 (抜粋)

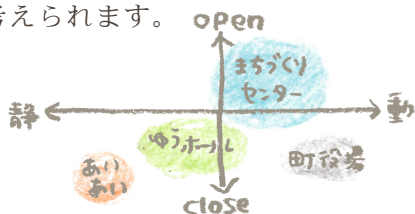
- 中央公民館の稼働率がほかの施設に比べ低い
- 利用者が一部の層に偏っている
- 過去に行ったアンケートの回答者の多くが高齢者である



導入すべき機能

〈他施設との役割分担〉

クローズで静的な役割を担うほかの施設に対し、新たなまちづくりセンターは、他の施設とは違う特徴をもった、人が集まり、出会い、交流する場とし、オープンで動的な役割を担うことが考えられます。



〈ホールの機能〉

ホールの機能のあり方やグレードについては、コスト等を含め、様々な意見がかわされました。



〈もとの機能の補強〉

生涯学習の機能は継承しつつ、様々なプログラムが充実するよう、使い方の工夫や使い手の発掘などソフト面の強化が課題にあげられました。

委員ヒアリングの結果

全体コンセプト

新しいまちづくりセンターは、若い人も気軽に立ち寄り集まれる場所が良い。等

ホール

必要な時だけホールになるような工夫はできないか。専用ホールも検討したい。等

既存の他施設との関係

楽しい場所であれば、町の東から西への移動はあまり問題ない。等

諸室

出来るだけオープンなスペースにした方が色々な使い方が出来て良い。等

住民参加や運営

成人式の委員や子育てサークルのリーダーなど次の成りてがない。等



若い方も主体的に活動する場へ



若い方のアイデア × 高齢の方の経験

活気あふれる場へ



住民参加について

まちづくりセンターが、オープン後も若い方のアイデアと高齢の方の経験で活気あふれる場になるよう、住民の皆さんに広く関心をもってもらい、計画段階から運営段階まで継続的に場を設けることが大切です。

第1歩として、今月～来月にかけてインターネットアンケートを行うので、是非ともご協力をお願いします！